

2018年11月24日(土)、25日(日)、第10回「図書館ひろば」が市立図書館にて開催されました。今回は10回の節目ということで2日間の日程で行われました。

24日は古本市とミニ絵本づくりのワークショップが開かれました。古本市は3回目になりますが、年々盛んになってきています。



寄付冊数：3551冊、来場者数と持ち帰り冊数：255人／1848冊
寄付金額：25418円 相模原市に全額寄付させていただきました。
ご協力ありがとうございました。

新しい試みの相模女子大学企画のワークショップは、アプリを使って、よく行く「あそび場」を紹介する小さな絵本をつくるというもので、大変好評でした。

当日の様子は <https://blog.pekay.jp/?p=5751> でご覧になれます。



25日は大集会室で小栗久江さんの「ひとり語り」、視聴覚室でおはなしワニーズさんの「布絵本・おもちゃ展とおはなし会」が行われました。

「交流の部屋」では午前中に本の修繕、点字の体験コーナー。終日図書館を活動拠点としている8団体の活動紹介展示、そして廊下では図書館ひろばの10年の歩みと、市立図書館1年間の活動紹介パネル

と盛りだくさんでした。



「交流の部屋」も初めての試みでしたが、これを機に図書館にかかわる多くの団体等とのつながりが広がってほしいなと思いました。

ひろばのために、当日ご協力いただいた皆様、前日準備を手伝ってくださった方々、そしてそれ以前からこの日のためにいろいろ準備をしてくださった方々、本当にありがとうございました。皆様のおかげで、成功裏に終わることができました。